

ととろき

田検小学校だより
令和2年6月29日(月)
字検村立田検小学校

「オヤフジ」感謝の日

校長 前田 和洋

いつの間にか令和2年度の1学期も終盤を迎えようとしています。今学期は新型コロナウイルス感染症の流行により、4月21日から2週間の臨時休業期間があり、学校行事も36回目を迎えていた「カッター訓練」や村の集合学習、5・6年生の「宿泊学習」が中止となるなど、1学期は児童が集って行う学校行事がことごとく中止となりました。しかし、日々の学習活動は、何とか進めることができ、夏休みも予定通り7月21日から開始される予定です。これも、保護者をはじめ、地域の皆様や関係機関の御理解と御協力の賜と心から感謝申し上げます。

さて、6月13日(土)に、5年ぶりに、本校のシンボルツリーである「二本のアカギ」の剪定作業を、大友組様の御厚志により実施することができました。大型のクレーン車や高所作業車やパワーショベル等の重機を駆使して、台風等の来襲があっても安全な状態に枝や葉を剪定していただきました。嬉しかったのは、中心的に作業に関わる2名が同窓生であったということです。母校の校長として勤務する私にとって、その環境整備に同窓生が関わってくれたということは、大きな喜びとともに誇りでもあります。今年還暦を迎える同窓達ですが、若い頃からシマを支え、地域の担い手として活躍している同窓生に感謝とともに畏敬の念を贈りたいと思います。私たち田検小卒の同窓生は34名でした。今では、その孫達が本校の児童として本校で学んでいることを考えると、親から子へ子から孫への家族の深い繋がりを感じます。

昔から奄美の各シマジマでは、敬老者や年長者を敬い、大切にしている歴史があります。それは「オヤフジ」という祖先への畏敬にも繋がっています。慶事があると、親戚中が集い、準備や接待を親戚中の若手が行うことが当たり前の伝統になっています。そこで、本校でも第三日曜日の「家庭の日」を「オヤフジ感謝の日」として、家族や祖先への感謝の日にしたいと考えています。具体的な取組としては、次の三点を考えています。①爺や婆に「感謝の気持ちを伝える」※直接会えないときは、ハガキか電話1本でもかける。②仏壇や祭壇があれば、線香を1本捧げる(祈る)。③家族で家族やオヤフジ(祖先)について語る時間を作る。具体的な取組は、7月の第三日曜日からと考えていますが、最終的には、親子や爺、婆と一緒に墓参りや墓掃除ができたらと思っています。

私の願いとして、子どもたちに、遠い祖先から脈々と続いている「家族」や「オヤフジ(祖先)」の存在を感じ、そこに畏敬の念を持ち、みんなに支えられ、みんなの中で生かされている自分を感じ取ってほしいとの願いがあります。



落下に備えて大型クレーンでワイヤーをかけ、チェーンソーで切り落とすと、大きな枝はひっくり返って宙ぶりに。



枝が複雑に伸びてより難しそうな状況。ゴンドラを吊し、渡り廊下の屋根に落下させないように、一本ずつ丁寧に剪定していきました。職人さんの熟練の技に魅了されました。

7月行事予定

【18日:青少年育成の日, 19日:家庭の日, 育児の日, 食育の日, 23日:読書の日】

19日: 田検小「オヤフジ」感謝の日

- 3日(金) 心の教室(スクールカウンセラー来校)
- 4日(日) やけうちっ子チャレンジスクール
- 7日(火) セタ集会, 第1回学校評議員会
委員会活動(ロング)
- 8日(水) 学級PTA, 第1回学校保健委員会
相談員来校日
- 10日(金) 水泳大会準備(職員作業)
- 11日(土) 土曜授業日, 水泳大会
- 14日(日) 第2回家庭教育学級(19:00~20:30)
「海の危険生物とその対処法」
- 15日(水) 相談員来校
- 18日(土) ファミリーキャンプ(自然の家)
- 19日(日) **田検小「オヤフジ」感謝の日**
食育の日・育児の日・家庭の日
- 23日(木) (祝)海の日, 読書の日
- 24日(金) (祝)スポーツの日
- 26日(日) 青少年ふるさと美化運動

初めての授業参観 ・ 愛校作業



教室 1



教室 2



教室 3



教室 4



教室 5



教室 6



授業参加のあとは親子愛校作業。普段掃除の行き届かない所まできれいになりました。感謝。



教育実習

6月8日から18日まで、本校出身で国際大学4年生の福山勇清さんが教育実習を行いました。担当の先生の指導のもと、二週間を子どもたちと過ごし、授業を進めたり、一緒に遊んだりしました。福山さんの授業は実習生のレベルを超えており、指導に当たる側も、若い現職の先生を見ているような気持ちになることもしばしばありました。

【感染症対策】

学校では、高接触部位や児童用机等をエタノールで消毒し、「手洗い・顔洗い・三密を避ける・マスクの着用」を繰り返し指導しています。御家庭や少年団活動でもこれらの対策に配慮した対応を御願います。